

会 議 録

会 議 名	令和８年度第１回小金井市市民協働推進委員会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和８年７月９日（木）１８時３０分～２０時００分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎 ８０１会議室		
出 席 委 員	田中敬文 委員長 邦永洋子 副委員長 石黒めぐみ 委員 森田眞希 委員 森 純一 委員 深澤 亘 委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	１ 小金井市 コミュニティ文化課長 伊藤 崇 コミュニティ文化課係長 兼堀義信 コミュニティ文化課主事 佐原涼太 コミュニティ文化課主事 天利将也 コミュニティ文化課主事 小池里美 ２ 小金井市市民協働支援センター準備室 北脇 市民協働推進委員 赤石 市民協働推進委員		
傍 聴 の 可 否	一部不可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由	協働事業提案制度に関 する議題のため	傍聴者 数	０人
会 議 次 第	（１）依頼状の交付 （２）自己紹介 （３）委員長・副委員長の選出 （４）委員会運営について （５）令和７年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況について （６）令和７年度及び令和８年度実施協働事業提案制度の進捗について （７）令和９年度実施協働事業提案制度の募集について		

	(8) その他
提出資料	1 委員名簿 2 小金井市市民協働推進委員会設置要綱 3 小金井市市民協働推進委員会について 4 意見・提案シート 5 令和7年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況 6 ケンタロードの畑で防災 7 一般社団法人k i k i 2年目の事業内容・スケジュールについて 8 令和9年度実施協働事業提案制度 募集要項

【事務局】 皆様、こんばんは。定刻になりましたので始めさせていただきます。

それでは、ただいまより令和8年度第1回小金井市市民協働推進委員会を開会いたします。

委員長が選出されるまでの間、事務局にて進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

初めに、委員の出席について報告いたします。森田委員から遅刻との御連絡をいただいております。定足数につきましては、小金井市市民協働推進委員会設置要綱第5条第2項に推進委員の半数以上の者の出席がなければ開くことができないと定められております。現在、委員定数6名中5名の出席ですので、委員会は成立していることを申し上げます。

続きまして、本日の配付資料の確認をいたします。

まず、次第です。続きまして、資料1 委員名簿、資料2 市民協働推進委員会設置要綱、資料3 市民協働推進委員会について、資料4 意見・提案シート、資料5 準備室の活動状況、資料6 ケンタロードの畑で防災、資料7 DOKI DOKI こがねい妄想ヒストリー、資料8 令和9年度実施協働事業提案制度募集要項、以上9点、過不足等ございましたらお申し付けください。皆様、大丈夫でしょうか。

それでは、議事に入ります。

次第1、依頼状の交付です。

依頼状につきましては、皆様のお手元に配付させていただいておりますので、御確認をお願いいたします。本来であれば市長から依頼状を交付するところではございますが、ほかの公務のため、机上配付としているところでございます。

委員の任期につきましては、令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間となっております。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、次第2、自己紹介です。委員の方々においては前期と変更ございませんが、改選後初めての委員会となりますので、一言ずつ御挨拶、自己紹介をいただきたいと思います。

資料1の委員名簿を御覧ください。名簿の上の方から順番に、一言お願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

【石黒委員】 石黒めぐみと申します。前回に引き続き、よろしくお願いいたします。公募による市民の参加となります。

私は協働ということで一番関心があるのが、子どもの居場所づくりとか、不登校の問題とか、そういうところで協働ということが何か役に立てるというか、もっと推進できることがあるのではないかなということは、常に頭にあります。これからもよろしくお願いいたします。

【事務局】 森田さん、遅刻のため、田中さん、よろしくお願いいたします。

【田中委員】 田中敬文と申します。どうぞよろしくお願い致します。

ホーム校は東京学芸大学というところでしたが、4年前に退職しまして、今は非常勤として、たまに大学にも出かけているところです。

私自身は、ずっとNPOを30年以上研究しておりまして、特にNPOがどうして世の中に必要かということ、ずっと考えてきています。NGOも含めてですが、やっぱりNPO、NGOが必要なところというのは、世の中にいろいろ社会課題があるということが明らかになっていますので、NPO、NGOを切り口にして、そういったいろいろな社会課題の解決に取り組んでいければと思っているところです。

今回も、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 邦永さん、お願いします。

【邦永委員】 邦永洋子です。今年度はNPOのほうではなくて、公募によって選ばれました。ふだんはNPOこがねい子ども遊パークという子どもの居場所づくりをするNPOの代表理事をしております。

私が長らく興味、関心があるところで、協働のことで言えば、NPOと市での協働というところもあります。もっと一歩進めて、広く産業とか、NPOとか、つながっていくところが広がっていくといいなと。そこにもう一つ、子どもというところを入れ込めたら、すばらしい市になるだろうなと思っているので、子どもの協働提案事業みたいなのを、ずっと考えています。

よろしくお願いいたします。

【事務局】 森委員、お願いします。

【森委員】 東京ボランティア・市民活動センターの森です。

私は自治体の協働の委員会のほうに幾つか入らせていただいています。ここのところ協働というところの意味も問い直すということが、結構いろんな自治体で言われているかなというのは感じているところです。

今ちょうどおっしゃっていただいた、行政とNPOという1対1の協働というところでとどまてはいけないなという意識が多いのかなと感じていまして、どちらかというと、そこから始まりつつ、こういった課題があるねというところに、いろんなおっしゃっていただいた複数のNPO、調査のほうも、小金井市さんもよく複数の所管課を協働の中でターゲットに入れていただいていますけれど、複数の所管課、複数のNPO、いろんな機関というのが、1つの課題のところで、お互いにできることをやるというような、協働を通じて、ところによっては共創という言い方もしているところ出てきていますけれど、そういったところが少しポイントかなと思いながら拝見しているところです。

昨年度に引き続きになりますが、よろしくお願いいたします。

【事務局】 森田委員がいらっしゃいました。今、委員から一言ずつ御挨拶、自己紹介いただいていますので、来て早々申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。

【森田委員】 遅れまして申し訳ありません。森田眞希です。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

【事務局】 深澤委員、よろしくお願いいたします。

【深澤委員】 こんにちは。市民部長の深澤でございます。引き続きよろしくお願いいたします。

市のほうも様々な行政の要求の課題を持っています。後で資料もありますが、協働事業提案制度ということで、いろいろ市民と協働して、課題解決に向けて進めてまいりたいと思っています。

また、コミュニティ文化課も係名が変わったりしております。協働というのを、もう少し前に出していこうということも含めまして、協働文化係という新たな名前にもなっていますので、また、そこを後ほど紹介があると思いますが、よろしくお願いいたします。以上です。

【事務局】 皆さん、ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、事務局の紹介をいたします。

事務局の紹介の前に、今、深澤委員から御紹介ありましたが、係の名称が、昨年度までは文化推進係という名称でしたが、令和8年4月1日から協働文化係となりましたので、御報告させていただきます。

それでは、改めて事務局の紹介をさせていただきます。

まずは、協働文化係長の兼堀です。

【事務局】 兼堀です。よろしくお願いいたします。

【事務局】 協働文化係、佐原です。

【事務局】 佐原です。昨年度に引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 協働文化係、天利です。

【事務局】 天利です。今年度より、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 協働文化係、小池です。

【事務局】 小池と申します。4月に異動になりました。よろしくお願いいたします。

【事務局】 次に、市民協働支援センター準備室です。北脇さん。

【事務局】 市民協働支援センター準備室の北脇です。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 続きまして、赤石さん。

【事務局】 赤石です。よろしくお願いいたします。

【事務局】 最後に、進行を務めさせていただきますコミュニティ文化課長の伊藤です。よろしくお願いいたします。

続きまして、次第3、委員長・副委員長の選出です。

委員長・副委員長の選出については、小金井市市民協働推進委員会設置要綱第4条第2項の規定により、委員の中から互選することとなっております。

初めに、委員長の互選を行います。委員長に立候補される方、またはどなたか御推

薦される方がいらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。

深澤委員、お願いします。

【深澤委員】 推薦でお願いしたいのですが、これまでも委員長を務めていただいた田中委員に委員長をお願いできればと思い、推薦させていただきます。

【事務局】 ありがとうございます。

今、深澤委員から田中委員とのお話でしたが、皆さん、異議なしということとよろしいでしょうか。

（「異議なし」という声あり）

御異議がございませんでしたので、田中委員を委員長とすることに決定いたします。改めまして、田中委員長から、一言、御挨拶をお願いいたします。

【田中委員長】 田中と申します。また委員長を仰せつかりました。

実は私、言い続けて、もう10年ぐらいたつんじゃないかと思うんですね、委員の委員長をやって。ですから、国関係だと、たしかいろいろ何期、県でも1期2年で何期までというのがありますが、ここの委員会の要綱とか見ると、書いてないんですよね、そういうことが。それは何か、これから書き加えたほうがいいのではないかと思いますので、ぜひ頭に入れておいていただければと思います。

私自身、小金井市でやらせていただいているほか、近隣ですと武蔵村山市で6年ぐらいいでしょうか、同じような形でやらせていただいています。そうしますと、どうしてもいろいろと比較させていただくことがあるかもしれません。

また、最近では、東久留米市というところに出かけて、いろいろ協働事業について話す機会がありましたが、例えば東久留米市は、こういう委員会とかはないです。ですから、特に市民団体の方と市の方にも、こういった協働の委員会があって、事業をやっていますと言うと、皆さん驚かれます。

実は多摩26市のうち、こういう協働委員会があるというのは、多分、半分ぐらいしかないなと思っています。そういう意味で、武蔵村山にしろ、それから小金井にしろ、こういった委員会を、ぜひ活発にして、NPOと市民団体と市と協働をやって、いろんな市に係る、市民に係る問題を解決していけばいいなと思っています。

どうぞ、また委員の皆さん、引き続きよろしくをお願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。

それでは、これからの議事進行は委員長にお願いしたいと思います。

【田中委員長】 続きまして、副委員長の互選を行います。副委員長の役割は、委員長に事故があるとき、また委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理するということになります。副委員長に立候補される方、またはどなたか御推薦される方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。

森委員、お願いします。

【森委員】 立候補ではありませんが、引き続き邦永委員に副委員長をお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

【田中委員長】 ただいま森委員から邦永委員を推薦されました。

お諮りしたいと思います、副委員長に邦永委員を選出することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、御異議ございませんでしたので、邦永委員を副委員長とすることに決定いたします。

では、邦永委員から御挨拶をお願いいたします。

【邦永委員】 今期も副委員長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【田中委員長】 それでは、次第に従いまして、議事を進めさせていただきます。続きまして、4番の委員会運営についてです。

まず、事務局から御説明をお願いいたします。

【事務局】 それでは、委員会運営について、御説明させていただきます。

資料2と資料3を御覧ください。まずは資料2です。当委員会設置に関する要綱でございます。資料3につきましては資料2の要綱から一部抜粋して作成したものになります。今回は資料3を使用しまして説明させていただきますので、資料2は後ほど御確認ください。

まず資料3の1、委員会について。

(1) 委員会の所掌事項です。資料に記載しているとおり、3点について協議していただくとなっております。ア、協働施策の推進に関すること、イ、協働事業提案制度に関すること、ウ、その他協働に関すること。

今、3点挙げましたが、その中でもイ、協働事業提案制度について、主にこの委員会で審査に御協力いただいているところでございます。

続きまして、(2) 委員会の会議録についてです。前回から引き続き全文記録とさせていただきたいと考えております。委員の皆様には校正いただきました後、ホームページにて公開させていただくこととなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(3) 委員会の公開についてです。こちらは原則公開としており、傍聴も認めております。ただし、協働事業提案制度の選考等に係る内容は非公開とさせていただきたいと考えております。

続きまして、2、スケジュールについてです。

委員会は年4回程度の開催を予定しております。

内容については記載のとおりです。第1回目为本日の委員会です。第2回目は、令和8年の12月頃を予定しております。内容は、令和9年度協働事業の第1次審査についてでございます。第3回につきましては、令和9年1月31日日曜日、午後に令和9年度協働事業第2次審査を予定しております。皆様、日曜日の開催予定としておるところでございますが、出席のほど、よろしくお願いいたします。第4回については、開催時期、内容、未定でございます。

資料4を御覧ください。意見・提案シートについてです。

こちらの意見・提案シートにつきましては、傍聴者などから当委員会の協議内容について御意見をお聞きするため設置するものでございます。市役所内のほかの委員会でも導入をしており、運用方法としては、意見・提案シートを設置した上で、こちらが提出された場合は、資料として取扱いをしている委員会が多いとのことです。当委員会におきましても、引き続き導入をしたいと考えています。

説明は以上です。

【田中委員長】 事務局からの説明が終わりました。何か質問や御意見ございますでしょうか。

会議のスケジュールですが、第3回、1月31日日曜日午後となっていますね。できれば、日曜日は避けていただけないでしょうかということ、ずっと言い続けております。ほかの自治体でも、土曜日の午後というのは、たまにありますが、いや、小金井市って、市の方も熱心なんだなと思いますが、日曜日の午後、皆さんおいでになったし、このときは市のほうの委員の方もおいでになると思うんですが、すごく熱心な市だと、私はいろいろなところで自慢させていただいておりますが、それでも、できれば可能な限り日曜ではない、ほかの日にやっていただけるといいなと、ささやかな声で申し上げさせていただければと思っているところです。御配慮をお願いできればと思っています。

【事務局】 可能な限り調整はさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【田中委員長】 ほかにはよろしいでしょうか。

そうしましたら、次の内容についてお諮りしたいと思います。

御説明ありましたが、会議録については、発言者名と発言内容全文を記載し公開すること、会議については原則公開とすること、ただし、選考に係る内容は非公開の取扱いとすること、それから意見・提案シートを資料4のとおり設置・導入すること、この3点につきまして、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

ありがとうございます。それでは、委員会運営について、以上のとおり整理いたします。

続きまして、次第の5番です。令和7年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況につきまして、まず、準備室から御報告お願いいたします。

【事務局】 市民協働支援センター準備室の北脇です。よろしくお願いいたします。

市民協働支援センター準備室の活動状況についての報告をいたします。

準備室は平成19年4月発令の小金井市協働推進基本方針に基づいて、市民活動団体と行政、また市民活動団体間の協働に関して、Ⅰの7つの業務、こちら、書いてあるところを行っております。これらの業務についての令和7年度分、1年間の報告をさせていただきます。

Ⅱは開所時間などを書いております。

Ⅲ番目の活動内容のところに、相談・コーディネート業務ということで、連絡手段と案件に含まれる内容があります。こちら、窓口、電話、メールなどがありまして、ファクスで相談というものはありません。ただ、ファクスで団体リストの送付等がありますので、表には書いてあります。こちら、延べ491ということになっております。

ページをめくりまして、2番、主な相談・コーディネート案件の状況です。こちらに関して、大体以下の内容の主なものを記載させていただきました。

この中には特に書いてないのですが、窓口でよくある相談といたしまして、新規団体の立ち上げに関する相談が一定数、毎年寄せられております。窓口では、まずお話

をじっくり伺いまして、他団体の事例を紹介しながら、これから何を進めていけばよいかを一緒に整理する手伝いをしています。既に活動を始めている団体さんもいらっしゃいます。そういった団体さんには、広報や活動場所、助成金に関する相談が多く寄せられておりますので、これもほかの団体さんはこんなところを使っていますということで、幾つか御紹介させていただいています。例えば、市民掲示板を使っている団体さんは多いですが、こちら也使えますよと言っても、皆さん、知らない方もいらっしゃいますので、市のホームページを見ながら、こういったところに活用方法が載っていますというお話もしています。

あと、よくあるのが、活動場所の紹介です。こちらは公民館や集会施設など、よく皆さんが利用するところから、少しお金はかかってもいいので別の場所、そういった御要望もございます。

それ以外のところになりますと、助成金の情報はよく相談があります。皆さん、何の助成金が欲しいのかというのは団体さんによって違うのですが、最近はボランティアさんを、有償ボランティアをしたいので、人件費が出る助成金がないかという相談があります。これも全くないわけではないんですが、数が少ないものですので、準備室のほうでは、1年間の助成金の情報みたいなものをつくっておきまして、その中で人件費が出るものをある程度ピックアップして、1年間の流れとして、このような助成金がありますと。今はまだ時期ではないんですが、またこの時期になりますと、こういったものも募集されると思うので、注意して見ておいてくださいという形でお伝えしております。

窓口では、一般的に情報をお伝えするのではなくて、お話を伺いながら、これならできそう、まずは一歩動いてみよう、小さな一歩ですが、前に進むということを意識して、気軽に動けるようなサポートを心がけています。

あとは、また立ち上がったばかりの団体さんは、やはり勢いがありますので、初期の支援を丁寧に行いますと、その後の活動がスムーズにいきます。最初の頃に見学に行ったりとかするんですが、また二、三年後たって、その後、どんな活動をされているか見に行ったりもしています。小金井市内の社会課題を考える団体さんたちが、いろんな団体とつながって広がるためにも、そういった現場を見て、知ることも重要だと思っております。

次のページに行きます。3番、情報の収集。市民活動団体への訪問活動、去年は6件ありました。内訳になります。NPO法人派遣研修でもお世話になっていますが、こげら会さん、ブレイブさん、小金井こらぼさん、レッツさん、こういったところにも見学に行っております。それ以外に新規立ち上げのときの相談があって、継続して伺うというところで2件伺いました。

2番の先進都市への協働状況調査、こちらに関しては、他市訪問になりまして、以前、コミュニティ文化課さんより紹介あったのですが、準備室からも少し紹介させていただきます。

令和7年3月にコミュニティ文化課さんと一緒に横浜市市民協働推進センターに視察に行きました。横浜市は政令指定都市であり、小金井市とは規模が大きく異なるため単純な比較はできないと感じましたが、大変参考になる視察でした。

協働推進センターという名称のとおり、この施設は社会課題の解決に向けて市民、企業、行政をつなぎ、新たな協働を生み出し、実現へと動きをつくる拠点となっております。

特に印象的だったのは、団体からの相談対応の仕組みです。私たちは窓口で、お話を聞くことはすごく多いのですが、こちらのほうは気軽に受けるのではなく、まず書面に書いて提出してくださいということをされていました。まずは書面を基本としまして、その書面を作成するために、自分たちが抱える課題や目指す方向、言語化、団体の強み、そういったものを整理して、第三者にも分かるようにまとめていました。

センターでは、その書面だけを基にしまして、内部で内容を検討するための会議が開かれます。団体さんに直接のお話を聞いてないからこそ、書面の中からだけでも団体自身が相手に伝わるように、どう表現すればいいか、そういったことを意識して、書く力が身につくということで、書面が通らなければ次のステージに進めない、そういう仕組みになっていますということで、これは協働の前段階として重要な団体の自立を促して、結果として市民活動団体の底上げにもつながる仕組みであるという説明を受けました。もちろんこれが全てではないんですが、できるだけそういうふうに行っているという、そういった紹介がありました。

また、横浜市は大きい都市ですので、協働の相手も行政だけではなく、大企業を含めた多様な主体が存在してしまっていて、実践の場にも、とても恵まれているのが小金井とは違う大きな強みだなと感じました。

職員の方も、バックグラウンドがとても多彩でして、それぞれの専門性を生かしながら、社会課題を捉えて、課題に対して柔軟に対応できる職員体制にもなっていて、全体の対応力の高さを実感しました。

小金井市と比較しますと、横浜市は大きな違いがあります。もちろん同じようにはできませんが、小金井市の規模に合った機能や支援の在り方、今、センター化に向けて、在り方も検討している最中ですので、そういったことも含めながら、今後、見届けていく必要があると感じました。

横浜については以上になります。

次に、4番、情報の発信は、「ぼらんていあこがねい」に、準備室専用のページを設けておりまして、そちらで準備室の事業のPRをしております。準備室の紹介、団体のイベントや講座の情報、それから先ほどありました助成金の情報なども、こちらに掲載しております。表の中にはブログの閲覧数などが書いてありまして、月ごとにまとめてあります。アクセス数も以上ようになっております。

5番、市民協働の推進のところ。(1) コミュニティ文化課とのミーティング、こちらは随時、電話やメール、もしくは直接顔を合わせながら打合せを行いまして、情報を共有しつつ、協働の推進に務めております。

(2) 各種会合のところに参加している会としましては、NPO法人連絡会、福祉NPO連絡会、協働講演会、協働提案の成果発表なども参加しております。

市民活動団体のリストの管理につきましては、昨年度は7月1日と12月1日に年2回の小更新を行いまして、更新版を発行させていただきました。内容のほうは、昨年度、新規登録団体は6件でした。削除団体は1件、あとは修正などの変更があった

団体は8件、そういった情報が反映されています。

なお、新規の団体に関しては、市民文庫のところ、桜の保全のところ、あとは市民レスリング、障がい児のダンスですとかお楽しみをするところ、それから水彩画の団体などの新規登録がありました。

その1つ前の令和6年と比べると少し量が減っているなど感じたのですが、削除の団体が1件でしたので、全体数で見ると、今現在、小金井市民活動団体リストの登録数は261団体と、例年とさほど変わらない状況になっております。

7番、行政への協力。こちらは協働提案事業の候補団体の事前相談や実施団体の打合せ等に参加しています。あとは、今ちょうど始まるところなんですが、NPO法人派遣研修、こちらのほうの協力も行っております。

最後に、その他の活動といたしましては、団体のつながりということで、子ども食堂のメーリングリストに助成金や勉強会の情報提供を行っております。それ以外に子育て支援団体ネットワークの情報提供、あとは先ほどのNPO法人連絡会さんのところへの情報提供、そういったことをこちらのほうで普段の課題から必要だと思われるものを情報提供させていただいております。

以上で準備室の報告を終わります。

【田中委員長】 報告ありがとうございました。

委員の皆さんから質問はございませんでしょうか。

【石黒委員】 この準備センターというのは、センターができるまでということでしょうか。

【事務局】 今、この市民協働支援センター準備室から市民協働支援センターの開設に向けて、再検討委員会というのを開いていまして、そこでセンター機能の見直し等をしております。今、現時点ですと、令和9年度の開設を目途に検討しているところでございます。

【石黒委員】 ありがとうございます。

【田中委員長】 ほかにはいかがでしょう。

【森委員】 冒頭に相談の事例を出していただいているので、本当に興味で聞いてしまって恐縮ですが、2のところの表になっているところで、真ん中あたりに法人さんからの相談で、知的、自閉症の方々のボランティア体験の受入れについての相談があって、紹介先団体とは連携できず見送りとなったとありますけれど、これは法人さんの相談者の思いとしては、どんな趣旨の体験を御希望だったんでしょうか。

【事務局】 こちらは、三鷹の法人さんが小金井の法人さんと連携したい、どこか紹介できないですかというお話でした。

内容としては、知的、自閉症の方たちがいる法人なのですが、今まで高齢者の方との触れ合いがあったということで、例えば、お弁当を届けるとか、あとは何かそういうものを通して、ちょっと声をかけるみたいな、で、お互いに交流を図るみたいなことをされていたんですが、三鷹のほうのそういった施設がなくなってしまったので、小金井でも高齢者のところで受け入れてくれるところはないですかという御相談でした。

こちらのほうで幾つか当たったのですが、やはり相手の方が三鷹という距離的なも

のですとか、あとは時間的なもので、今回は難しいですねというお話で、残念ながら見送りとはなったのですが、ただ、このお話をしましたときに、相談した相手の法人さん、皆さん、すごく気持ちよく接してくださいまして、すごくいい取組ですね、やってみたいんですが、既存のカリキュラムというか、時間割の中に新しく入れることは今すぐには無理なので、今後そういった形も検討していきたいという回答になりました。

【森委員】 市民が活躍するということに、こういった障がいがある方も、受け手という形だけじゃなくて、こういった形でやってみたいというのが出てくること自体はすごくいいなと思って、聞かせていただきました。ありがとうございます。

【田中委員長】 ほかにいかがでしょうか。

【深澤委員】 令和7年度の報告ありがとうございました。令和7年度の報告のⅢ番、活動の内容の1、相談・コーディネート業務で、総件数491件、相談を受けられたということで、お疲れさまです。実はそれは昨年度、令和6年度のを見ると、相談件数は333件ということで、令和6年度に比べ1.5倍ぐらいに増えているんですけど、窓口は20件増で電話は63件増、メールに至っては75件増となっているんですが、これは何か増えた理由は把握されていますか。

【事務局】 実は、私もこれは聞かれるだろうなと思って考えたんですが、すみません、こちらのほうで何が理由なのかがよく分からず、申し訳ないです。

【深澤委員】 例えば、これが5年度、4年度よりも増えて、どんどん増えているというものがあったりするのかなと思って。

【事務局】 昨年度からは明らかに増えていまして、今は令和7年度の発表なので、令和8年度の発表をする必要はないのですが、実は令和8年度を見ると、さらに増えています。ということで、やはり年々上がっているのかなという感じはします。

1つだけ気になるのは、今まで準備室に相談に来られた方に、何を見て相談に来られましたかということを知るときは聞いているんですね。今回、普通に調べて来ましたという方がとても多くて、そのときは何も気にしてなかったんですが、後からチャットGPTに、これについてどう思うと言ったら、社会福祉協議会のこの準備室の名前が一番上に出てきて、それ以外に出てこなかったことがあったんですね。多分それかなと思っています。

なので、今までは何か調べたいときはワード検索で、単語2つ入れてエンターを押すと、それに近い、その単語を含んでいる団体さんのホームページが引っかかるという形だったんですが、今の人たちはAIのところに入れまして、文章を入れまして、そうすると、そこに近いところはこんなところですよということで、文章で、要約まで含めて、全て回答してくれるんですね。その中に準備室の名前がドンと出てくるというのを、実は今日、たまたま別件で知りまして、今思うと、それかなという感じです。

【深澤委員】 ありがとうございます。

【田中委員長】 なるほど、そういう時代だなと私は思いましたけどね。

【森委員】 うちのセンターの相談でも、よく相談があって、お答えすると、なるほど、AIと同じで安心しました。

【事務局】 もう確実にそれですね。

【森委員】 やっぱりちょっと視点がずれているところはあると思うので、すごく相談するものが大事なんだろうなというのは思っています。

【事務局】 そうですね。

【田中委員長】 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、本日出た質問、御意見につきましては、準備室運営の参考にさせていただければと思います。よろしいでしょうか。

それでは、次第の6番です。令和7年度及び令和8年度実施の協働事業提案制度の進捗について、まずは事務局から御説明をお願いいたします。

【事務局】 それでは、令和7年度実施協働事業提案、2年目について報告させていただきます。

資料6を御覧ください。

市民提案型協働事業のやさいじん製作委員会における、やさいじんと学ぶ！小金井わくわく農業プロジェクトについてです。

先月の6月13日土曜日に、みなみあかり WOS BURGER、畑の防災活用ケンタロードの畑で防災を実施しております。こちらはジャガイモづくりや畑遊びを通して、自分たちにできる防災を楽しく学ぶものになっております。当日は20人を超える参加者数で、大変にぎわいのあるイベントとなっております。

続きまして、資料7を御覧ください。こちらは行政提案型協働事業の一般社団法人k i k i、DOKI DOKI こがねい妄想ヒストリーについてです。資料の3枚目見ていただくと、そちらにありますとおり、2年目の概要について書いてありますが、看板を巡るウォークラリーイベントと、あとは小学校での出張授業を実施する予定でございます。ウォークラリーにつきましては、キックオフイベントを10月3日と4日に開催予定となっております。

概要としましては、ブース展示やワークショップを行う内容となっております。また、ウォークラリーでは、巡った場所の数に応じてノベルティをもらえるなど、様々なイベントが盛り込まれております。

小学校での出張授業につきましては、現在、小金井第四小学校と調整をしており、11月頃実施予定となっております。対象は小学6年生としており、設置した看板の内容を取り入れた授業を実施する予定となっております。

続きまして、令和8年度実施協働事業提案制度の進捗について御報告いたします。こちらは資料はございませんので、口頭での報告となります。

市民提案型協働事業の防災植物こがねい会における防災植物ガーデンを拠点に、おいしく楽しく優しく備えようです。こちらは8月22日土曜日午前9時半から11時半、わくわく都民農園小金井にて第1回防災植物教室を開催する予定です。

災害時に食料の確保が困難となった場合に備えて、食べられる野草の見分け方や採取方法、活用方法などを学ぶイベントとなっております。

詳しくは令和8年7月15日号の市報に掲載となる予定です。

続きまして、行政提案型協働事業の小金井国際支援協会K I S S Aにおける、みん

なでつくる優しい多文化防災です。こちらは優しい防災ガイドの作成や配布、周知などの事業となります。

現在検討している内容としましては、例年10月から11月頃に開催されます小金井市防災フェスタに参加し、周知・啓発活動を行う予定となっております。

報告は以上です。

【田中委員長】 ただいま事務局から説明がありました。令和7年度及び令和8年度の実施協働事業提案制度の進捗についてです。委員の皆様、何か質問、御意見等ございますでしょうか。

【森田委員】 畑の防災活用のイベント、ここに私も関わっているのですが、当日参加と、当日だけでなく、そこまでに至るプロセスの中で、たくさん子どもたちが関係して、こういったチラシですとか、その収穫したもので、何を作ったらいいだろうとか、どんな働きかけをしたらいいのかということをや取りを重ねて、貫井南児童館で行っていました。すごく当日もたくさんの参加があつて、大人たちの見守りもあつて、とてもよいイベントだったなと思います。

あと、NPO法人連絡会で、高橋さんの、防災植物の会について、お話を伺えるような機会を、7月23日に来ていただいて、お話しただけならなと思って、またこのkikiのメンバーの方々にも声をかけて、お話ししていただけたらなと思っています。幾つか声が上がっているのが、提案制度で申込みをする前に、そういったことにも参加して、じゃあ、次、自分たちも提案制度に手を挙げてみようかという、何かこのきっかけになるといいよねと。ただ、それには日程的に、やっぱりなかなか難しいですね。どうしても、それを提案制度で申請した後になってしまったりとか、その日にちを合わせたりとかするのがちょっと難しいなと思いながらなんですけれども、まずはその23日、高橋さんに来てもらって、お話をしてもらおうと思います。

【田中委員長】 ほかにはいかがでしょうか。

7月15日号の市報というと、次の市報ですかね。

【事務局】 そうですね。

【田中委員長】 ありがとうございます。

よろしいでしょうか。皆様、日程等合いましたら、こっそりでなくても、堂々と構いません。ぜひ参加して、様子を見ていただければいいかなと思っています。

ちょっと余計なこと言いますが、こういうふうに市民団体とかが、市のこういった協働事業提案制度で、実際に事業とか行事をやっているときに、これはほかの市の方とお話しするとびっくりするんですが、小金井市の方の職員の方とか、何といいますか、こっそりというか、普通の市民みたいな顔して気楽においでになるというのはすごく、ほかの市の方にお問い合わせしたら、いや、うちではそんなこと絶対にありませんと言われたことがあります。

ましてや、何年か前に駅で、駅ピアノのとき、市長さんも当時の市長さんがおいでになって話をした。いや、うちではそんなこと絶対あり得ませんとか言っていました。

あるいは教育長さんとか、いろいろと自由な形でおいでになられるというのは、小金井市の、この委員会も頑張っていることもあると思うんですが、割とそういう意味では、市と、市民団体と、それから市役所との関係の割と話しやすい、そういう雰囲気

気ができつつあるんじゃないかなと、いろいろ思うところがあります。

そういう雰囲気というのは大事にしていきたいなと思っているところで、だから、これが普通ではなくて、ほかの市ではあまりないということなんだよということは、我々もありがたく思っておいていいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 よろしくお願ひします。

【田中委員長】 よろしいでしょうか。

そうしましたら、次第の7番目、令和9年度実施の協働事業提案制度の募集についてですね。募集要項について、進めさせていただきたいと思います。

次第7は協働事業提案制度の募集の議題となりますから、会議は非公開とさせていただきます。

次第7は、協働事業提案制度の内容にかかるため非公開

【田中委員長】 次第8番のその他です。

まずは事務局から御説明をお願いいたします。

【事務局】 それでは、2点御連絡させていただきます。

まず1点目です。先ほども話題に上がりました市民協働支援センター再検討委員会についてです。こちらの経過について御報告をさせていただきます。

再検討委員会は、これまで令和7年度、令和8年度、2か年にかけて、市民協働支援センターの機能について見直しをしているところでございまして、これまで計5回開催しております。第1回目が令和8年1月16日、第2回が令和8年1月30日、第3回が令和8年2月20日、第4回が令和8年3月20日で、第5回が令和8年6月2日に開催したところです。

その5回の主な内容としては、第1回と第2回では、平成24年3月に小金井市市民協働の在り方等検討委員会から提出されております答申書の内容や準備室で行っている取組について確認を行いまして、その後、委員会で意見交換を行いました。

第3回から第5回では、小金井市の市民協働のこれからやセンターに求める機能について議題としまして、全国的な事例を紹介しながら、ワークショップ形式で議論をしたところでございます。

今年度は残り3回を12月までに開催しまして、これまでに検討してきた内容を報告書という形でまとめていく予定としております。

再検討委員会の会議録や資料につきましては、市ホームページに掲載しております。本日までには第4回までの議事録や資料を公開しておりますので、お時間がありましたら、そちらにつきましても御確認いただければと思います。

次に、次回の市民協働推進委員会につきましては12月頃開催させていただく予定でございまして。内容としましては、令和9年度協働事業の1次審査に関する内容を協議させていただく予定となります。後日、メールにて事務局から日程調整の御連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

連絡事項については以上です。

【田中委員長】 どうもありがとうございます。

この市民協働支援センター再検討委員会の経過についてお話ししていただきましたが、その中では、多分我々の市民協働推進委員会に係ることもあるかと思いますが、今の時点で我々委員が共通に知っておくべきこととか、何か今後話題になりそうなことがありましたら教えていただけるとありがたいんですが、いかがでしょうか。

【事務局】 今のところはセンターに求めるソフトの機能やハードの機能を、コロナ禍を経て社会情勢が変わってきていますので、また、24年の3月に答申してから、しばらく時間がたっているので、こういう機能は要らなくなったのではないかと、御意見を委員の方からいただいていますので、それを基に機能の見直しというのをしているところでございまして、我々の目標としては、今、準備室でやっている取組に拡充できるような形で考えていますが、再検討委員会の委員の方から御意見をいただきながら、最終的には報告書に基づいて、令和9年度中の設置に向けて、今後準備していきたいと考えているところです。

【田中委員長】 お願いいたします。

【事務局】 事務局です。この会から代表して、森田委員が市民協働支援センター再検討委員会にも御出席していただいておりますので、何か森田さんから御報告とかがあれば、お願いいたします。

【森田委員】 活発な意見交換が毎回行われておりまして、いい報告書ができればいいなと思っております。

【田中委員長】 そうすると、もちろんいろいろ検討していただくのもありますが建物が建つということでしょうか。

【森田委員】 そうですね。そこと、今までその繰り返しで、変えていくべきものと、変わらずにあるものというものが、どういうことなのかなということを考えて、やっぱり参加している皆さん方も、建物のイメージがなかなか浮かばないという声がまだ聞かれているように思いますね。

【田中委員長】 ありがとうございます。

委員の皆様、ただいまのこと等につきましても、何か御意見等ございましたら、よろしくお願いいたします。

よろしいでしょうか。

そうしますと、あとは今度、この委員会ですね。市民協働推進委員会、次の会議は12月頃予定されているということですので、また日程が近づきましたら、委員の皆様に、多分メール等でお伺いがあるかと思いますが、その節はどうぞよろしくお願いいたします。

いかがでしょう。皆様、何かございますでしょうか。委員の皆様、何か御紹介とか御案内等ございましたら、この機会にと思いますが、よろしいでしょうか。

【石黒委員】 少し細かいことになりますが、先ほどの準備室で、ボランティアをやりたいというお話か、お問合せもあったというふうに、有償ボランティアとか、具体的にどういうボランティアやりたいとか、そういうお話もあったりするものなんですか。

【事務局】 ボランティア相談は、基本的には社会福祉協議会のボランティアセン

ターで受けることになっているので、こちらにはあまり来ないですが、ただ、特定の団体さんが興味があって、ボランティアで入りたいですとか、そういったときは団体への仲介という形で準備室のほうが対応させていただくことがあります。そういうのを関係なしに、一般的に窓口でボランティア相談される方は、人によってまちまちでして、子育て関係に興味があるとか、高齢者の方がいるとか、そういった形でお話をされる方が多いですね。

【石黒委員】 ありがとうございます。

【田中委員長】 よろしいですか。

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、もしないようでしたら、本日の会議はこれで終了させていただきます。

—— 了 ——